

# 日本音楽療法学会誌

## JAPANESE JOURNAL OF MUSIC THERAPY

### Vol.4/No.1 2004

■第3回学術大会 大会長講演「国家資格をめざして」	村井 靖児	3
■第3回学術大会 インビテーションスピーチ「国際資格化について」	斎藤 十朗	7
■第3回学術大会 公開討論会「音楽療法士の専門性を考える」		
公開討論会の司会を終えて	阪上 正巳	11
音楽療法士の専門性について	青 拓美	13
音楽療法士の専門性を考える	岡崎 香奈	21
「職業的な能力」をめぐる	羽石 英里	26
神経内科医・病院経営者の立場から	美原 盤	32
■特集 「音楽療法士に要請されるもの」		
臨床的音楽技術	稲田 雅美	38
音楽療法における倫理 — 日常の仕事を支えるものとして —	生野 里花	46
音楽療法に必要な治療理論	村井 靖児	61
病態理解	村林 信行	68
■原 著		
抑うつ感低減に音楽提示系列が与える影響 — 音楽気分誘導法による実験的研究 —	竹内 貞一	76
統合失調症患者の音高特性 — 無伴奏独唱時の調選択から —	熊本庄二郎・小西 慶子	87
■事例研究		
左半側空間無視に対する音楽療法により歯みがきが改善した1例	甲谷 至	96
〈臨床の知〉による音楽的経験の一考察 — 青年期退行ダウン症の事例から —	吉田 豊	104
■書 評		
阪上 正巳著 「精神の病いと音楽—スキゾフレニア・生命・自然—」	丸山 忠璋	114
E・H・ボクシル著 林・稲田共訳 「発達障害児のための音楽療法」	濱谷 紀子	115
メアリー・プリーストリー著 若尾 裕 多治見陽子 古平孝子 沼田里衣訳 「分析的音楽療法とは何か」	櫻井 浩治	116
会 則		118
役 員		120
投 稿 規 定		121
編 集 後 記		122